

可能性

を見つけて伸ばします！

市内の小中学校に少人数学習推進教員と健康推進教員

を配置する「個性を生かす教育推進事業」も今年で11年目を迎え、平成20年度からは「小規模学校支援教員配置事業」も開始され、ますます子どもたち1人1人の個性に応じたきめ細やかな指導を行えるようになりました。今回は、市内で日々活躍する各教員たちをご紹介します。

### 「分かった」を大切に 少人数学習推進教員

少人数学習推進教員は、1学級の人数が多い市立小中学校に配置され、子どもたちの習熟度や興味・関心などに応じて複数のグループに分けて授業を行う「少人数学習」や、一つのクラスに複数の教員が入り授業を行う「ティームティーチング」を、担当の先生と協力して実施しています。市では現在23の市立小中学校に少人数学習推進教員を配置しています。

少人数学習やティームティーチングにより、子どもたちがより集中して授業に取り組むことができ

る、分らないところを質問しやすい環境を作ることができる、自信を持って発表することができるなど、授業の効果が上がってきています。

子どもたちからは、「授業が分かりやすくなって楽しくなった」、「勉強することに自信がついた」と大好評のようです。

### 心と体をサポート 健康推進教員

健康推進教員は、児童・生徒数の多い9校の市立小中学校に配置され、養護教諭と協力して子どもたちを心と体の両面からサポート

しています。

保健室は、けがや病気の救急処置をする場だけではなく、さまざまな悩みを抱える思春期の子どもたちにとって安心できる「心の居場所」となっています。

健康推進教員は、授業中や休み時間など、いづいどんな不調を訴えてくるかわからない子どもたちに優しく声を掛けて応えます。そうすることで、誰もが気軽に相談できる環境づくりに努めています。すべての子どもたちが健やかに成長できるように、健康推進教員は、今日も子どもたちを温かく見守っています。

### 家庭的な雰囲気 小規模学校支援教員

現在市には、児童数が少なく、複式学級になる学校が4校あります。複式学級とは二つの学年を一人の担任が一緒に受け持つことです。複式学級では、一人の教師が同時に複数の学年の指導を行うた



## 現場で働く推進教員&支援教員に聞きました。



玉造小学校 少人数学習推進教員  
飯島 憲子先生

6年生の授業をチームティーチングで受け持っています。子どもに声を掛けるときは、立って上から教えるのではなく、子どもたちと同じ目線の高さで話すよう心掛けています。少人数学習推進教員がいることで、子どもたちを囲む環境が少しでも温かく、こまやかなものになればいいと思いながら取り組んでいます。

**子どもたちから** 先生は怒ると怖いけど、先生の笑顔を見ると、わたしたちも元気になります！

成田中学校 少人数学習推進教員  
伊藤 淳俊先生



少人数学習推進教員として働いて2年目になります。授業では、全体を見通し、生徒が授業に対する姿勢を作れるようにすることを心掛けています。また、聞く・書く・解くの基本をしっかりとできるようにサポートしています。複数の教員が子どもたちに対して視線を注ぐことで、成功も失敗も受け入れる「安心感」が伝わればと思っています。

**子どもたちから** 先生は、頼れるお兄さんのような存在です。先生のおかげで、授業中質問しやすくなりました。

中台中学校 健康推進教員  
下澤 知保先生



子どもたちに笑顔で接することを意識しています。自分が暗い表情をしていると、保健室の雰囲気も暗くなり、子どもたちの気持ちも暗くなってしまうと思うからです。また、日ごろから積極的に声掛けをすることで、子どもとの信頼関係を築く努力をしています。

**子どもたちから** 先生は、とにかくいつも明るいです。先生の優しさは、私たちを癒してくれます。



中郷小学校 小規模学校支援教員  
井出 明奈先生

わたしは小規模学校支援教員として、複式学級の授業を単学年でできるよう2年生を受け持っています。児童数の少ない学校なので、みんなが家族のように学校生活を送っています。子どもたちには、自分の考えをしっかりと持ち発言できるようになってほしいと思っています。また、授業では、導入部分で子どもたちの興味を引き付けられるようにさまざまな工夫をしています。

**子どもたちから** 先生と一緒に昼休みに家族ごっこをするのが大好き。国語の音読もとても上手です。

め、学年に合わせた授業をすることが難しく、子どもたちの集中力が欠けるといった難点があります。このような状況を克服するのが小規模学校支援教員です。1学年1教師で授業が行えるように配置され、担任の先生と協力して複数の学年を指導しています。小規模学校支援教員が配置されることに

よって、学年別の指導が可能になり、段階的・系統的な学習を行うことができるようになりました。また、複式学級を担任と小規模学校支援教員が共同でサポートすることにより、より深く子どもたちを理解し、個性に応じた指導をすることができそうです。小規模学校の様子はとても家庭

的です。授業中や休み時間・給食・学校行事など、多くの機会に全校の子どもたちと接することに よって、小規模学校支援教員は、子どもたちの頼れる存在となり、少人数ならではの親密な関係を築いています。 ※くわしくは学務課(☎20・15 81)へ。



給食の準備も先生と一緒に

### 求む!! 推進教員 支援教員

市教育委員会では、来年度の「少人数学習推進教員」「健康推進教員」「小規模学校支援教員」を募集します。採用期間は、平成23年4月1日～3月31日です。募集要項は「広報なりた」12月15日号でお知らせします。あなたの熱意を教育現場で発揮してみませんか。